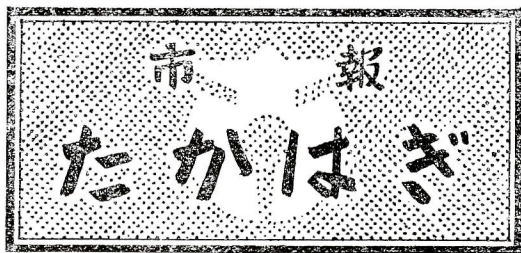


第21號

毎月一回5日発行

発行 高萩市役所
編集 總 務 課
印刷 藤 枝 印 刷 所



明 る い 郷 土

住 み よ い 高 萩

市民税について

ことしの

六月は市民税の第一期納期であり、市民税は他の税と異なり、市民全般が受益に對する負擔を分任すると云ふ、重大な意義を有しているからであり、以下、市民税について、少しく解説を試みる。

市民税とは、どうゆうもので、如何なる方法によつて賦課されるかと云ふことを申し上げ、市民各位の御協力を御願ひしたいと存じます。市民税は均等割と所得割とによつて構成されており、均等割は、應益の原則を基礎として、おののに対し、所得割は、應能の性格を有しております。

まず均等割について見ますと、市内に住居を有し、前年に於いていくらかでも所得を有した者で、成年者であれば、すべて均等割の納税の義務を負うことになり、前にも述べたように、市民税の特質たる負擔分任の精神をもつものである。表現しておるものがあり、まして成年者は、その一人々々がすべて納税の義務を負ふと云ふ元の世帯主義と變つておるところであり、まして成年者である限り、市の經費の分擔に任じ、この負擔の分任を通じて、地方自治への積極的な参加が期待されるのであります。均等割の税率は、自治体の人口区分によつて異なり、

⑤ 等三課税方式本文
④ ③の金額から所得税額を控除した金額を課税標準額として算定する場合
第三課税方式但書

額として算定する場合
等三課税方式本文
④ ③の金額から所得税額を控除した金額を課税標準額として算定する場合
第三課税方式但書
当市は現在第一課税方式を採用しております。
課税率は、(市民税百分の十五、県民税百分の六)計百分の二十一となつております。
尚ここに附加で申上げておきたいことは、今回(第二十六回)の通常国会において、所得税法の大改正が行はれ、所謂「千億円の減税」が実現されたのであります。従つて所得税を基礎として課税

額として算定する場合
等三課税方式本文
④ ③の金額から所得税額を控除した金額を課税標準額として算定する場合
第三課税方式但書
当市は現在第一課税方式を採用しております。
課税率は、(市民税百分の十五、県民税百分の六)計百分の二十一となつております。
尚ここに附加で申上げておきたいことは、今回(第二十六回)の通常国会において、所得税法の大改正が行はれ、所謂「千億円の減税」が実現されたのであります。従つて所得税を基礎として課税

主要国税及地方税の納期一覽表

納期	国 税	県 税	市 税	納 期	限
四月	固定資産税 ①	第一期	四月二十一日から三十日限り		
五月	自動車荷車税	第一期	五月二十一日から卅一日限り		
六月	所得税 ①	第一期	六月二十一日から三十日限り		
七月	所得税 ②	第二期	七月二十一日から卅一日限り		
八月	所得税 ③	第三期	八月二十一日から卅一日限り		
九月	所得税 ④	第四期	九月二十一日から卅一日限り		
十月	所得税 ⑤	第五期	十月二十一日から卅一日限り		
十一月	所得税 ⑥	第六期	十一月二十一日から卅一日限り		
十二月	所得税 ⑦	第七期	十二月二十一日から卅一日限り		
一月	所得税 ⑧	第八期	一月二十一日から卅一日限り		
二月	所得税 ⑨	第九期	二月二十一日から卅一日限り		

◎伸びよ高萩のばすな納税

市議会全員協議会

―新 建 設 委 員 決 る―

去る五月二十八日午後一時より市役所において市議会全員協議会を開催、市庁舎建設特別委員会及び工場誘致特別委員会の委員の改組と新たに駅東の新設小学校建設特別委員会を構成した今後はこれらの実行委員によつてそれらの事業を擔當してゆくことになる。委員は左の通りである。

市庁舎建設特別委員会

委員長 矢代 良三
副委員長 木内 啓次
委員 岩本 武門
佐藤 之男
豊田 正門
豊田 武門
佐藤 之男
豊田 正門

小学校建設特別委員会

委員長 矢代 良三
副委員長 木内 啓次
委員 岩本 武門
佐藤 之男
豊田 正門
豊田 武門
佐藤 之男
豊田 正門

工場誘致特別委員会

委員長 渡辺 伝
副委員長 鈴木 藤雄
委員 下山 榮三郎
坪和 武雄
大久保 清助
柳沢 良助

谷地川清掃及改修問題をと
りあぐ
谷地川問題協議会代表者
神長吉衛氏外十三名の関
係者から出された谷地川
清掃及改修に関する陳情
について市議会はこれら
陳情者の要望意見を聞き
本件をとりあげることと
し直ちに文教厚生委員会
及建設委員会の両委員会
へ付託した。

これから 病 害 虫



農業メモ

〇苗代もすく／＼と育つてきた。猫の手も借りた田植も目の前だ。いそがしいが油断ができないのは病害虫である。稲作増収の基礎である苗作りに大きな障害となるのは病害虫、果樹などは、いまやられたら今年一年だめになる。それらの病害虫対策を考えてみよう。

〇苗代の病害虫
苗代の病害虫は、充分に防除しておかないと、本田に持ちこまれて、思わぬ被害をうける。さいわい苗代での防除は本田にくらべると努力、経費がはば二十分の一くらいですむから、いまだつておけば本田の経費も少なくて済むから苗代での防除

を完全にやるのが大切である。

〇まず多いのは苗イモチ種もみを消毒しても、被害ワラ等でも伝染する。これには六斗式過石灰ボルドー液に展着剤を加えてかけるのもよし、最近是有機水銀剤(ミクロゲン、リオゲンなど二〇種類ある)銅水銀剤、銅剤など数多くでている。発生前の予防からやると銅剤が被害もなくてよいが発病してからは水銀剤の方が効きめがある。常発地では第一回を本葉三―四枚のとき、あとはときどき下葉などをしらべて病斑が出たらすぐかけるとよい。

〇ゴマ葉枯病は、

榮養不足のときに出やすい。その根本を改善するとともに、ひろがるときは銅剤か銅水銀剤をかけるとよい。

〇黄化イシキ病、白葉枯病は、冠水したときにおこる。水がひいた直後、銅剤か銅水銀剤をかける。

〇病気のなかだちするウンカ類、
苗代では発病しないが、このころ感染するのはイシキ病や、シマ葉枯病、これはツマグロヨコバイと、ヒメトヒウンカが、なかだちするバイラス病だ。ウンカ類にはBHC一〇〇粉剤を、ツマグロヨコバイにはB粉剤をかける。バラチオンなら一層効めがある。これを種まき後二週間目から一週間おきにかけてとメイ虫その他もみな駆除できる。寒冷地ではドロオイ、ハモグリバエにはBHC剤、バラチオン剤がよい。いづれもみつけ次第早めに、そして共同で防除することが一番効果もあり結局は得になることである。

〇モモの縮葉病とアブラムシ、
葉が火ぶくれのようにふくれ上つて、白い粉がでる。これが縮葉病、これには芽が出る前から石灰硫黄合剤をかけておくのも大切だが、花が二分咲き位のとき充分かける。また確実なのは、病葉をみつけ次第に、つみとるこ

とだ。このころアブラムシの卵がかかるのでボルドー液にバラチオン剤やニツカリン等をまぜてかけると両方を防げる。

〇ブドウの
コクトウ病には四斗式ボルドー液の散布サルハムシ、フタテンヒメヨコバイにはDDT八〇〇倍液をかける。

〇ミカンには
ダニ退治に硫黄合剤の四〇倍液やDN乳剤千五百倍から二千倍をかける。ソールカ病には六斗式石灰ボルドーを薄くてもいい。いねいにかけるがよい。

〇柿の落葉病を防ぐには
六月上旬、中旬に十日おき程度に、一石式過石灰ボルドー液を散布する。

〇炭疽病は富有柿のような優良種が特にかりやすくて大抵の品種でもこの病気に弱い。

伝染期の六、七月と九月に三、四回一石式過石灰

〇十日は「一時の記念日」です。時間に対してルーデなことは日本人の悪い癖です。「一時」の反省の機会に時間を有効に使いましょう。

〇風水害天災は忘れたころにやつてくる。とよくいわれますが、最近ではそんな生やさしいものはありません。梅雨入りから秋にかけて年中行事のようにやつてきまふから、個人の防災意識の昂揚と平素の備えが肝心です。

廣 報 メ モ

〇農家の皆さんご用心。農繁期に多い犯罪といえはあきす忍びこみ、押売りなどです。農家自身の不慮の注意はもちろですが隣り同志の協力が必要です。

〇待ちかねたボーナスがいつたらと皆さんいろいろの計画をたてて使つてしまつたようすが、ふだんはなかなかできない貯金を役立たせることはどうでしょうか。

メートル法の統一について

いよいよ我国の計量單位は昭和三十四年一月一日からメートル法が実施されることになりました。

政府においてはメートル法統一について強力に推進されるのでメートル法に習熟し猶予期間満了の際まごつかないように今から物心ともに用意しておかねばならないと思ひます。

計量單位の統一を必要とする理由

生活、文化、教育、科学、産業、経済等いろいろの分野の計量單位が統一されてない現在、どんなに不便であり有形無形の損害が毎日繰返されております。

その例は――

一、物を買うとき米は「キログラム」パンは「斤」肉、野菜は「匁」醬油は「リットル」酒は「升」洋服地は「ヤール」和服地は「鯨尺」電気コードは「メートル」といふ雑然さである

二、スポーツ関係スポーツ関係の放送や報道を通じて耳や目にふれる計量單位で陸上、水上は「メートル」野球のグラウンドは「フット」選手的身長、体重は「メートル」キログラム「鎗斗」は「ポンド」相撲は「尺貫」といふ混亂ぶりである。

三、農産物の生産高農家の米の取入は斗斛で計られ

買上から農林省の集計まで「ギログラム」、生産統計の発表は「石」配給は再び「キログラム」多くの家庭で使うときは「升」「合」で計られるという不合理な例もある。

何よりも一番よい計量單位だとして学校で習ったメートル法が日常生活では以上

農繁期の食生活は

農繁期にはすべての労働が集約的にやつてきますので、平素以上の栄養を確保しておくことが必要になります。

最近農家の農繁期における栄養の摂取状況は農閑期よりも劣つていないともいわれますが、まだまだ農繁期後の障害があるところをみると食事に欠陥の多い農閑期との比較だけでは農繁期の家族の労働と生活に要求されるだけの栄養が足りているとは考えられません。

一般に農村の人は早老であり、また清らかな自然の環境に育ちながら農村の児童は都市以上の栄養的な障害がみられる事実をみてもその辺の事情を察することが出来ます。

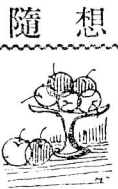
農繁期の熱量の補給も主食だけではならず、脂肪を加えてできるだけ食物の「カサ」を少なく質的な食物を工夫した方が激しい労力を

トル法が日常生活では以上合理的と知りながら習慣に屈してゆくということを経返している。

この不便と不合理は一日も早く取り除かねばならないそのために計量單位を統一しなければならぬがその統一單位としてはメートル法が一番すぐれているという根本理由である。

する場合は腹もちがよく、労働の能率も向上するし健康上にも好影響をもたらします。

また労働には蛋白質(血や肉のもと)が特に必要だといふものではありませんが、農家の平素の食事に不足しがちですから、全体の栄養を高めるために干魚大豆加工品や卵など、つとめて食べるようにいたします。



随想

スイスでの事

二月も押し寄せまつた、肌寒いある日、新装成つた高萩館で、昨今とみに有名な作家、石川達三先生と、私達青年四、五名が、座談の

しょう無機質(骨や歯のもと)とビタミンの含んでいる小魚、海藻、緑黄色野菜等も欠かさないようにいたしまししょう。また何々をつくつて食べようといわれても時間的な問題で難しいので保存食を作り努力時間の節約と家族の栄養を高めることが必要になってきます。

例えば魚のなんばん漬、ねりみそ、佃煮、すりごまきな粉等を取り入れ家族の嗜好にあわせて各自が食べたいだけとりわけて食べるようにすれば個人的な調整もできましようし、農繁期栄養に役立ちましよう。

◎市民税・縣民税

納期限

6月30日

消え入りそうに低かつた。そして、こんな話を紹介された。

「……先年、西欧を旅行したとき、スイスへ立寄りまして。そのとき、ある街の小さな店で小品を買つたんです。値段も安かつたので、着色してある色が、どうせすぐさめてしまふんだらうと思つて、店のお婆さんにきくと、そのお婆さんはキツと真顔になつて、こう言ふんです。

「お客さん、その品物にメイドインスイスとあるのに御氣付きないでしよるか。この商品は、スイス製なんだというのに、私は確信と誇りをもちつております。私達の作つた商品で、私達の國の名譽を汚す様なことは、國民として出来るものでしよるか。これは、単に私ひとりだけでなく、全國民の希いなのです。どうか安心してご購入下さい。」

……こう言はれて、私は少なからず感銘を覚え、ほんとうに羨ましく思つたことでした。」

先生の声は低かつたけれども私達の頬を紅潮させ、心を引きつけて行くだけの力があつた。

話はいろ／＼と続いた。

「……スイスには、軍隊がないと、よく言われますけれども、私がいた所にもありますと、そうではないんです。普通、少数の常備軍があつて、その中將校が常に兵役義務のある國民の教育に當つてゐる。國民は

山寺のジューズ

一年のうち、何週間とか、訓練召集の日があつて、それぞれ家庭から、鉄砲をかついて訓練に参加し、それが終ると、まづすぐ我が家へ鉄砲を収め、勤めにもどる。だから、兵隊といつても、ひとごとでなく、誰か國を守つてくれるんだらうという様な傾向は全くない。自分達の手で自分達の國を守るんだということが、実にしつくりしているらしいんです。」

浜みのある声が、いくぶん高まり、一句々が、私の胸を突き抜いて、話は道徳から、もろもろの言葉とともに、愛國心へと結ばれて行つた。

昨年の十一月に、文教厚生関係の市會議員が、東北の二、三の市の行政状況を視察したことがあつた。幸い、私もそれに随行することが出来た。

一行は約八名ほどであつたが、折角の機会だからと帰途山寺(山形県)に立寄つた。この山寺は、山寺駅の目の前に聳え立つ、宝珠山の山腹にあるもので、西暦八六〇年(今から約千百年前)慈覺大師の開基になるものと伝えられており、比叡山、延暦寺の別院として、広く知られているものだといふ。

けわしい、岩石まじりの山をよち登つて行くのであるが、途中静かきや岩に沁み入る蟬の声

など、石にきざみこまれた名号などが散見された。こゝでのごとである。一行は年配者が多かったもので、途中、渴を覚える事だろふと思ひ、山麓のある店に入り、ジュースを求めたのである。値段をきいてみると、安いのと高いのと、二通りあるという。そこでどうせノドを潤す程度なんだからと、気安く考えて、安い方のを求めた。高いといつた方は、馬鹿すぎる程高いと思つたせいであつたところが途中で小休止しジュースの口をきつて渡すと、一同異口同音に、「こんな腐つたもの……」という。はて、と思つたが、私も試みにと、一口含んでみると、思はず吐き出してしまつた。腐敗していたからか、元來、味が不來なのかは別として、とにかく飲むに堪えなかつた。

私はいさゝかの憤懣を禁じ得なかつた。下山するなり、ジュースを買つた店の主人公に云つた。

「先程のジュース、腐つた様で、まづくて飲めないで、みんな捨てゝしました」

私の胸勘定では、大概なら謝つて金を戻してくれらるゝと考へてゐた。ところが傍にいた店員がずい分田舎者だなあという表情たつぷりで

「だから安いと言つたのではありませんか。高い方を買つて貰へば、そんなことはなかつたんですよ」

同僚と笑ひながら、実に平然と答へた。その中にはみぢんに客に対して済まないという様な態度は見られなかつた。

私は、むつとした。

「安ければ、用に堪えなくとも、当然だといふのでしようか。良い品を安く、というのが、商法ではないでしようか。名勝田寺を目ざして参詣する人は、相当な数にのぼることと思ひますが、その中の幾人かは、私の様に不愉快な思ひ出をこの山寺に止めることとしよう。これが外国人だつたら、貴方は、国の名勝古跡を紹介するどころか、恥を紹介する様なものです。商人道というものは、もつと立派なものである筈だと思ひます。」

「しかし、店主からは、一言の申訳もなかつた一瞥をくれて、店を出ようとして振り向いた私の背中に、せせら笑う様な店員たちの声が、追いかけてきた。一だから、高い方を買つて下されば良かったんですよ……」

私も、遠く近く点在して見える、落ち残つたりれ柿に沈みかけた夕日が映えて赤々と美しかったが、私の脳裡には、ふと、少年の頃小説で読んだ「吸血鬼」の記憶がよみがえつてゐた。

ラジオレボより

つい一週間位前のことである。たまさかの休みを得たので、晝食後のひとときを、寝ころびながら、何気なくラジオのスイッチを捻ると、次の様な意味の対話が流れてきた。

「貴方が自衛隊に入らうと思つた動機は？」

「はい……家にいても、なかなか就職も容易でありません……」

「自衛隊に入れば、別に失業の心配はないわけですね……」

「……はあ……」どうやらこの青年は、失業対策の途として、自衛隊を選んだ模様だつた。

「次に……あなたは何？」

「はい、……自衛隊で少し金を貯めて、それを學費として、大学へ行きたいと思つております」

「それではあなたが自衛隊に入つたのは、まあ、アルバイトというところなんですか？」

「……」

その外もつと骨 稽に感じたこともあつたが忘れて

しまつた。そして、ラジオは、次の様に結んでゐた。

「……自衛隊に入つてくると目的は、いろ／＼と異つてゐる様ではあるが、昔の軍隊というものを知つてゐる人は、これをきいて、何と考へるであらうか。」

事の善悪は別として、ラジオの録音構成は、こゝで音楽に切替へられたが一時間近い放送の中、とうとう國を守るために、という言葉がきかれなかつたのはちよつと、変な気がした。

東と西と

座談会のことなど、忘れたかたのころになつて、たまたま、こんな話を思ひ出したまでで、別にスイスを模範國家、理想國家として取り上げた意志は、毛頭ない。けれども、地球半分へだてると、こんなにも考へ方が違ふのかしらと、言ひ知れぬ淋しさを覚えるのである。

山寺のジュースは、たゞ例にひき合はされただけで我々の日常生活には、もつと悪い、もつと危険な道徳のたいはいが見られるのではないだろうか。毎日の新聞が、ラジオが如実にそれらを立證している。

社会の秩序を維持するたに、云うまでもなく、法律というおきてがある。けれどもこれは、いはゞ他力による強制力であつて、制裁規定、義務規定はあるがこれだけによつては、社会の秩序を保持することは不可能である。強制力は持たないけれども、個人の良識による道徳というものがやがましき要請される所以である。法律に触れなければ他人にどんなめいわくをかけてもよいという様なことがあつては、社会は、混亂するばかりであらう。いふまでもなく、道徳は、既成事実を基礎として求められるものであるから、封建的保守的要素を多分に含んでゐる。けれども、良くかみしめてみれば、それはそれなりの意義を見出すことであらう古きものにも、一片の理くつはある筈である。

また、自衛隊なども、ずい分問題にされながら、やつと軍隊と言ひ得る程度のものに成長した様だ。大砲よりパンを、こゝまで成長するには、それだけの意味があつたのだらう。私も再軍備ということが、盛んにとりあげて、騒がれたところ、私なりに随分と考へたことだつたが、わからなかつた。しかし、こゝ数年間朝鮮の問題、ドイツの問題近くは、中近東の問題と世界の情勢を、目のあたり

に知らされて、最近になつて、ほんとうに遅まきで恥づかしいことであるとは思ふが、始めて、国防ということの重要性を、經驗的に痛感するのである。

勿論軍備の規模は、國家經濟上のバランスによつて必然的に制約は受けなければならないことは、当然であるがそれにしても、先程のラジオレボ等と関連して「税金が行軍している」といつた様な國民の自衛隊觀汚職のための自衛隊といつた様に、とにかく、國を守るべき者と、一般國民との間に、拭うべからざる感情のへだたりを感じるのは、果して私一人であらうか。

× × ×

自分の國の商品に、強い自信と、高い誇りを持つことのできるスイスの國民、國民皆兵制度でありながら世界のどの國からも、軍國主義國家などと言はれずに國民の自覺に基いて、自分の國を守つていくスイスの國民を、私はひどく羨ましく思ふのである。

商品のことを言つてゐるのではない。軍隊のことを言つてゐるのではない。その洗練された、國民性をこそ、羨ましいと思つてゐるのである。

社会福祉主事 柴田 耕